

へきけんニュース

ホームページ https://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/

メールアドレス kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp

☎ 0154-44-3291 FAX 0154-44-3292



背景は北海道教育大学釧路校

令和6年度へき地・小規模校教育研究センター 活動方針が決定しました

北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター

令和6年度第1回へき地・小規模校教育研究センター会議にて、以下のとおり全体方針を決定しました。

へき研センターでは、全国的な少子化・小規模校化の中でへき地・小規模校教育の研究開発および教育実践を進めると共に、北海道教育大学の特色作りの一環として全国的な役割を果たしていきたいと考えております。そのためにも、へき地校体験実習による学生の幅広い教職資質・能力と教職意欲の向上、オンデマンド研修コンテンツやCBTの開発及び全国の現職教員研修の強化、へき地教育研究成果を通じた国際社会への貢献を強化し、日本の中でのへき研センターの存在意義を果たしていきます。

令和6年度へき地・小規模校教育研究センター活動方針

1 センターが目指すもの

○北海道教育大学の多くの学生に、「教育の原点」とも言われるへき地・小規模校教育を経験させて、学生の幅広い教職資質・能力と教職意欲の向上を図り、教員志願者数の減少傾向を上昇基調に転じさせる。

○へき地・小規模校教育に対応できる理論的・実践的研究開発を推進し、北海道はもとより全国におけるへき地・小規模校教育の発展と学校規模縮小化の課題解決に対応できる知見を普及する。

○教員研修機会の少ないへき地・小規模校の教員の資質・能力の向上を図るために、オンデマンド研修コンテンツや「へき地・小規模校教育実践力向上CBT」の開発を進めると共に、北海道及び全国の現職教員研修の強化を図る。

○OSDGs目標4「質の高い教育をみんなに」の実現に向けて、へき地教育研究成果を通じた国際社会への貢献を果たす。

2 活動方針等

(1)理論と実践の往還による「へき地教育プログラム」を中心とした教員養成の高度化

①北海道教育大学各校のへき地教育論講義・へき地校体験実習を充実させた「へき地教育プログラム」を拡充し、北海道と全国のへき地・小規模校で実践的に活躍できる教員を育成する。

- ・へき地校体験実習参加学生の拡大と受け入れ校の拡大
- ・へき地教育講義(理論)とへき地校体験実習(実践)の往還的なへき地教育プログラム拡充
- ・北海道教育委員会と連携したへき地教育プログラムの充実化
- ・北海道教育委員会と連携したへき地地域に定着する教員の輩出

②へき地・小規模校の少人数指導体験などのへき地・小規模校の特性を生かした教育活動を通じて、教職意欲と教育実践力の高い学生を育成する。

- ・へき地校の運動会・学芸会・学校祭等の参加等による少人数学級での子供との触れ合いなどの感動体験機会の拡充。1日へき地校体験の拡充
- ・個に応じた教育・地域連携教育・異年齢指導・遠隔双方向教育・チーム学校等の体験
- ・へき地校の子どもの学習支援活動機会の拡充
- ・へき地校の経験を契機にした教職意欲の高い学生の育成

(2)少人数指導等の先進研究を生かした現職教員研修の全国展開

①北海道内の教育委員会・学校教育界と連携して、北海道のへき地・小規模校教育研修を拡充し、中堅教員・スクールリーダーを育成する。

- ・北海道立教育研究所へき地教育教員研修事業(基礎編+発展編)の共同開催と中堅教員の育成
- ・北海道教育委員会・教育局・市町村教育委員会・校長会・学校と連携した調査研究・研修活動の拡充
- ・北海道教育委員会と連携した派遣研修講座・テクニカルサポート事業の拡充

②北海道へき地・複式教育研究連盟及び各管内研究連盟と連携し、北海道の学校現場におけるへき地・小規模校教育研究及び実践を発展させる。

- ・全道へき地・複式教育研究大会の参加と情報交換
- ・各支庁管内へき地・複式教育研究大会の参加と情報交換
- ・市町村へき地教育研究大会の参加と情報交換

③全国の都府県教育委員会と連携したへき地・小規模校教育研究・実践研究と研修普及を進め、全国における北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターの存在意義を明確にする。

- ・都府県教育委員会・市町村教育委員会からの研修講師派遣依頼等への協力
- ・全国の都府県教育委員会等への資料提供
- ・公開用オンデマンド講座等の提供と活用奨励

④「全国へき地教育研究連盟」と連携し、全国におけるへき地教育研究・実践を発展させる。

- ・全国へき地教育研究大会・総会への参加
- ・全国へき地教育研究連盟と連携した調査研究活動の推進

(3)へき地・小規模校教育を他大学のカリキュラムに組み込むための協働研究・FD研修の全国展開

①「日本教育大学協会へき地・小規模校教育部門」や「全国大学へき地・小規模校教育研究会」などの全国の大学のネットワークを広げ全国的なへき地教育研究・研究交流を発展させる。

- ・日本教育大学協会全国研究集会、へき地・小規模校教育分科会での研究交流及び情報発信
- ・他大学出前講義や研修事業要請への協力と教員派遣
- ・共同研究員制度によるセミナー等の研究活動の交流

②連携協定を締結した北海道教育大学と、長崎大学・鹿児島大学・琉球大学との「へき地・離島教育に関する連携協定」による事業の展開

- ・4大学連携フォーラムの開催
- ・教師の養成・採用・研修の一体的改革推進事業の実施

(4)SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」の国際社会貢献の推進

①国際的なへき地・小規模校教育研究へのニーズが高まる中で、国際社会におけるへき地・小規模校教育研究センターの研究成果を発信する。

- ・英語版HUE RISE Resource Series No1・No2“Multi-grade Teaching in JAPAN”の普及と発信
- ・英語版HPの拡充と発信
- ・国際シンポジウムや国際講演会の開催による国際的な発信

②へき地・小規模校教育研究センターの国際社会貢献活動と国際協働研究を発展させる。

- ・海外からのへき地教育研修訪問団の受け入れ
- ・海外からの国際講演等の派遣要請への協力
- ・海外へき地教育の調査研究の推進

(5)へき地・小規模校教育研究センターの研究・教育の発展と存在意義の明確化

①全国唯一のへき地・小規模校教育研究の中核的な研究センターとして、へき地・小規模校教育研究を発展させ、その成果を教育実践活動や大学の教師教育に生かす。

- ・紀要『へき地教育研究』の継続発行による研究成果の蓄積。本学教員及び全国の教員の投稿の拡充

- ・実践活動用『へき地・複式・小規模教育の手引』の普及と継続発行
- ・学長裁量経費等の特別プロジェクト・受託調査研究プロジェクト研究の推進
- ・文部科学省概算要求事業「学校規模縮小化に対応した教員養成と教員研修を推進する教育拠点整備事業」に基づく教育・研究活動の推進

②へき地・小規模校教育研究センターの研究内容・活動内容成果を北海道教育大学内外に広く普及し存在を知らしめる。

- ・「へき地・小規模校教育推進進フォーラム」の開催と全世界への発信
- ・「へきけんニュース」の発行
- ・リーフレット等のセンターを紹介する刊行物の充実
- ・報道機関に対する積極的なプレスリリース
- ・ホームページの充実
- ・Facebookを活用した情報発信
- ・研修成果をまとめた書籍の刊行

3 充実した活動を展開するための運営体制の確立に向けて

- ①キャンパスにおけるへき研センター員の拡充とへき研センター員間の連携及び役割分担
- ②各キャンパス間のへき研センター員・へき地教育アドバイザー間の相互協力
- ③へき研センター事務局と各校教育実習委員会・地域連携委員会・カリキュラム委員会・教職員等との連携
- ④各キャンパス長・執行部と連携したキャンパスにおける位置づけの向上
- ⑤各教員が講演等で招聘された際のへき研センターの宣伝

読者の皆様からの掲載記事を募集しています

へき地・小規模校教育に関するトピックや行事案内など、へきけんニュースへの掲載希望がありましたら、原稿や画像をお送りください。

送付・お問い合わせ先

へき地・小規模校教育研究センター事務局
 ☎ 011-778-0942
 ✉ crc@j.hokkyodai.ac.jp